

# 第1回 まとめ

二宮町 公共施設再配置・町有地有効活用

## 町民ワークショップ

公共施設と町有地 今できることとこれからを考える

平成 29 年 7 月 21 日(金)に町民センターにて、「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用町民ワークショップ」を開催しました。

当日は、公募及び無作為抽出によるアンケート対象者に向けた参加募集への呼びかけに応募して頂いた 31 名の方が参加され、テーマ 1(東京大学果樹園跡地の活用を考えよう)とテーマ 2(公共施設の再配置・管理運営を考えよう)の2グループに分かれて、それぞれの課題や可能性などについて話し合いました。



会場の様子

### ワークショップのテーマと概要

#### テーマ1

##### 東京大学果樹園跡地の活用を考えよう

東京大学果樹園跡地を魅力的な交流拠点として、どのような場所にしたいか、実現に向けた取り組みとして何ができるかについて考えます。

#### テーマ2

##### 公共施設の再配置・管理運営を考えよう

サービスの向上や効率的な管理運営のため、利用しやすい予約方法や民間ノウハウの導入、施設再編の方向性などについて考えます。

### ワークショップのプログラム

時間	項目	内容
19:00~	開会	・開会 ・町長挨拶
19:10~	趣旨説明	・ワークショップの概要を説明
19:30~	基調講演	・「サードプレイス、エリアブランディング」 ～自宅や仕事場から離れた心地のよい第3の居場所となる交流拠点づくりと、二宮らしさ・二宮ならではの発見～ 講師：入川秀人氏(入川スタイル&ホールディングス(株)代表取締役)
20:10~	質疑応答	・参加者、町からの質疑応答
20:20~	移動・休憩	・テーマごとに分かれる
20:30~	オリエンテーション テーブルワーク	・テーマごとに進行 ・進行役、アドバイザーの紹介 ・テーマの説明、自己紹介など ・話し合い
20:50~	全体会	・各グループの発表
21:10	閉会	・閉会

## 基調講演の概要

### 基調講演: サードプレイス、エリアブランディング

～自宅や仕事場から離れた心地のよい第3の居場所となる  
交流拠点づくりと、二宮らしさ・二宮ならではの発見～

基調講演講師 入川秀人氏

事業開発から業態開発、街づくりまで幅広い分野で活躍している。

特に、東急沿線の都市開発や TSUTAYA TOKYO ROPPONGI、UT STORE HARAJYUKU の店舗プロデュースなどで高い評価を獲得。現在は、これまでの実績や蓄積したノウハウ、独自のマーケティング手法等を基に、関連企業の企画および開発業務のほか、まちづくりや地域ブランディングに関する社会実験や、教育・出版事業などをメインに精力的に活動を行っている。



### 講演要旨

- ・ サードプレイスとは、自宅や職場、学校から離れた、自分らしくいられて、自分の大事にしていることや町へどのように関わりたいかなどを地域の人と忌憚なく話せる場所であり、入川氏は、サードプレイスという考え方をカフェという空間で展開してきました。
- ・ カフェの定義: 誰もが気軽にコミュニティにアクセスする (Community Access for Everyone)
- ・ カフェを中心としたまちづくり事例をご紹介いただき、人が集う交流拠点の実現に向け、発想のきっかけとなるようなお話をご提供いただきました。

#### CAFEの定義

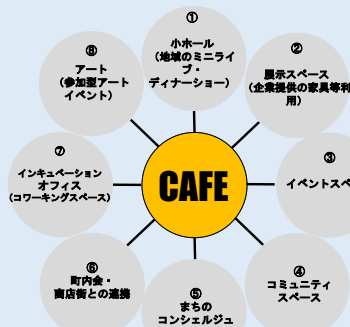
**C A F E**  
Community Access for Everyone



“誰もが気軽にコミュニティにアクセスする”  
それが私たちの考えるカフェです。



#### 地域貢献施設としてのカフェ



CAFEが地域の様々な機能を担い、コミュニティのハブとなる



## テーマ1

# 東京大学果樹園跡地の活用を考えよう

テーマ1「東京大学果樹園跡地の活用を考えよう」では、NPO法人西湘をあそぶ会代表理事・原大祐さんにファシリテーターとして、参加者の皆さんの議論のきっかけづくり、議事進行をお願いしました。

右に掲げたキーワード4点について、3グループに分かれて意見を出し合ってもらい、最後に代表者にまとめを発表していただきました。

### 1 課題

二宮町が抱える課題

### 2 リソース

二宮町の資源

### 3 面白い人、すごい人

### 4 ポテンシャル

東大果樹園の可能性



## チーム1

目標としては遊びの場。

今は子どもも大人も遊ぶ場所が少ない。

お金が無くても、ゴールが決まっていなくても、この場所を使って、情報発信しながら少しずつ作ってどんどん広がっていく。

面白い所楽しい所には人が集まるし、楽しさというのは、人を巻き込むことができるのではないかと思う。



### 1 課題

- ・ お金がない
- ・ 土地がないのでお金が集まらない
- ・ 若い世代が集まらない、高齢者が多い
- ・ 遊べる公園がない(遊具、ボール遊びなど)
- ・ 緑が多いのに触れられる場は少ない
- ・ 町民自身が二宮の良さに気付いていない
- ・ 飲食店が少ない、企業が来ない
- ・ 高齢者を資源として活用

### 2 リソース

- ・ ちょうどよい大きさの町
- ・ 海、吾妻山、空が広い、緑が多い
- ・ 人が優しい、閉鎖的でない
- ・ 不動産相場がリーズナブル、何かを始めるのにリスクが低い
- ・ 都内に一時間ぐらい(通える距離)
- ・ 大型店舗が集まっている
- ・ 高速が近い、遊び場が近い

### 3 面白い人

- ・ 二宮が好きな人、二宮を盛り上げようとしている人が多い
- ・ 自然や子どもを中心に考えて生活している人達が多い
- ・ 空き家を活用する(リノベ)パン屋さん
- ・ たびするくま ※イベント：昼飲みマルシェ
- ・ おきなわんナイト
- ・ にのみや子ども自然塾

### 4 ポテンシャル

- ・ 歴史、自然に触れることができる場
- ・ 歴史があり町民が知っている

## チーム2

遊びは教育に比べると軽んじられることがあるけれど、子どもは遊ばないと育たない部分もあるので、子どもも大人も一緒になって、とことん遊べる場所にしていきたい。

子どもと農(果樹園・農業)をキーワードとした教育、生きる力を養う場所として手がけたらよいと思う。



- 1 ・ 何もない、知名度低い、財政力がない  
課題  
・ 町が歩きにくい、道路がせまい  
・ イベントがしょぼい、集う場が少ない  
・ 遊ぶ場所がない(ボール遊び、雨天時)  
・ 保育園の選択肢がない、空き家が多い  
・ 不便(買い物、医療)、駅前がさびしい  
・ 自然が活用されてない  
・ 若い人は減少、高齢者にはやさしくない

- 2 ・ ラディアン  
の存在  
リ ・ 図書館子どもスペース  
ソ ・ 駅が使いやすい、アクセスが良い  
ー  
ス ・ 町民活動(団体)が多い  
・ 水が良い  
・ 温暖な気候、みかんの北限、オリーブ  
・ 吾妻山と海、川が近い  
・ 物価は安め、土地安い、電車すわれる

### 3 ・ ブーランジェリーヤマシタさん

- 面  
白  
い  
人  
・ domother 種まく母  
・ コスプレイヤー studio Q  
・ KUMIKI PROJECT  
・ 昆虫博士

- 4 ・ 文化的建物  
ポ ・ 天然記念物的なバツがある  
テ ・ 湧水  
ン  
シ  
ャ  
ル ・ オリーブの可能性 peace  
・ 元東大のブランド、東大が選んだ場所  
・ 自然塾の存在

## チーム3

平たく人が集えて、果樹を活かしたガーデンとか、既存のグラウンドでのスポーツ・健康づくりや、広さを活かしたキャンプなど、いろんなことができる公園のような場所としたい。

町には多方面でキーパーソンとなる若い方がいて、暮らし方やものづくりなどで、面白くて新しい取り組みがされている。



- 1 ・ ブランド力がない  
課題  
・ 一色小の生徒が少ない  
・ 吾妻山公園を活用しきれていない  
・ 若い人が町に関心がない  
・ グラウンドが少ない  
・ 高齢化  
・ 財源資金がない

- 2 ・ 交通の便がいい  
リ  
ソ  
ー  
ス  
・ 気候が温暖  
・ 海、山の自然が有り交通の便がない  
・ さかな、朝市(月1)  
・ 温泉がある  
・ 買い物に便利  
・ 人がほどよく少ない  
・ 車を停めるスペースが多い

### 3 ・ KUMIKI PROJECT

- 面  
白  
い  
人  
・ 太平洋不動産  
・ nicoyoga  
・ 「海の近く」編集長

- 4 ・ 近くに温泉がある  
ポ  
テ  
ン  
シ  
ャ  
ル  
・ 栗、イチヨウなど果樹が多い  
・ 陽当たりが良い  
・ 古い建物がある  
・ 運動場がある  
・ 猪、狸、蛇など多様な動物がいる

## テーマ2 公共施設の再配置・管理運営を考えよう

テーマ2「公共施設の再配置・管理運営を考えよう」では、東海大学工学部建築学科・山崎俊裕教授をアドバイザーにむかえました。

今回はオリエンテーションとして、参加者の皆さんの自己紹介と普段の公共施設の使い方や課題などを共有しました。

最後に、次回に向けた「身近な公共施設しらすシート」を配布して、次回提出をお願いしました。



- 1・二宮中や町民運動場、東京大学果樹園跡地で野球を行っている。
- 公共施設について
- ・町民運動場などでサッカーを教えている。
  - ・地域集会施設を子どもの居場所づくりに使っていきたい。
  - ・東京大学果樹園跡地でパラスポーツ支援をしている。
  - ・駅前町民会館で車椅子レクダンスを支援しているため、廃止後の代替施設について気になっている。
  - ・ラディアンを仕事場として活用している。
  - ・温水プールが気に入っている。
  - ・海を活かした公共施設があるとよい。
  - ・住人が公共施設をどのように使っていきたいかが重要。
  - ・利用されている施設は、なるべくお金をかけずに有効活用していきたい。

- 2・施設の予約が大変。
- 公共施設の課題
- ・保育園までの通園に苦労している。子育て支援を拡充してほしい。
  - ・子どもを持つ親として、子どもの減少を実感しており、小学校の今後を思案している。子どもの数は減少傾向にあるが、子育ての環境を整えないことには子どもは増えない。
  - ・町民センターでボランティアをしている。中井町のグラウンドを使うこともあるが利用料が高い。二宮町のグラウンドは利用料が安い、日陰がなかったりと設備に課題がある。
  - ・ラディアンは施設として素晴らしいが古くなってきている。
  - ・町民センター3階を手話サークルで利用しているが、参加者は階段の昇降が大変。
  - ・一色小学校区地域再生協議会において、国の補助金は規制があり、活動しにくいと感じた。「コミュニティのための施設」について話したい。
  - ・二宮町で写真を撮影している。町に展示する施設がなく、活動場所は主に東京となっている。
  - ・百合が丘保育園は駐車場がない。子育てサロンは駐車場が1つしかない。
  - ・ラディアンは施設利用料と駐車代の両方の支払いは高いと感じるが、他の方はどう思われているか聞きたい。

- 3  
その他
- ・若い世代がどんどん流出している。
  - ・子ども達へのIT教育ができるとよい。
  - ・二宮町は子どもを育てる環境として、とてもよかった。
  - ・リタイアを機に、二宮町へ移住した。移住後しばらく、東京まで通勤していたが、電車で座れるため問題なかった。
  - ・横浜まで通勤しやすい。
  - ・今まで様々な所に住んできたが、二宮町は住民の方がすごく良いと思う。
  - ・二宮町の方は地域愛があるように感じる。町の長所を公共施設の運営にも生かしてほしい。
  - ・町の行政が保守的。
  - ・引っ越してしばらく経つが、地域とつながれていないと感じる。町の情報が入ってこず、不思議。
  - ・二宮町は消滅可能性都市である。小中学校を中心とした町の運営を行うことがいいのではないか。



## 今後のスケジュール

時期	テーマ1	テーマ2
第1回 7月21日 <今回>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークショップの概要</li> <li>○講演「サードプレイス、エリアブランディング」</li> <li>○オリエンテーション</li> </ul>	
第2回 9月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演「公共空間の利活用」</li> <li>○管理運営のスキーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設の現状と課題</li> </ul>
第3回 9月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演「遊休資産の活用事例」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演「公共施設の再配置」</li> <li>○公共施設の管理運営</li> </ul>
第4回 10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シミュレーション：現地（その1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シミュレーションゲーム（その1）</li> </ul>
第5回 10月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シミュレーション：現地（その2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シミュレーションゲーム（その2）</li> </ul>